

日本地震工学会 年次大会・国際シンポジウム 2015 プログラム Ver.4 (2015.11.4)

	11月19日(木)	11月20日(金)
9:00	基調講演	横断セッション(C) 「各分野の耐震設計」
	司会：中埜良昭(東京大学)	コーディネーター：五十田 博(京大)
	目黒公郎(東京大学) 会長挨拶	講演： ・建築：福山洋(建築研究所) ・土木：長尾毅(神戸大) ・機械：尾西重信(中部電力) ・地盤：新井洋(国総研) ・地震動：加藤研一(小堀鐸二研究所)
	高橋良和(京都大学) 土木分野	構成： 我が国は、世界でも有数の地震国であり、古くから世界をリードする地震学ならび耐震技術に関する学問や技術開発がなされてきた。これらの活動は、これまで、建築、土木、地盤、地震、機械等の分野に分かれていた。そこで、地震工学としてまとまった活動を行う学会として日本地震工学会が設立された。本特別セッションにおいては、その学会の特徴を活かし、各分野の耐震設計に関する議論をおこなう。
	安田 進(東京電機大学) 地盤分野	
	藤田 聡(東京電機大学) 機械分野	
	堀 宗朗(東京大学) 地震分野	
	福和伸夫(名古屋大学) 建築分野	
10:50	休憩	
11:00	ポスターセッション(1)：P1-1～P1-40 1時間	ポスターセッション(3)：P3-1～P3-37 1時間
12:00	昼食	
13:00	横断セッション(A) 「International Session：免震・制振」 コーディネーター：岡崎太郎(北大) 講演： ・James Ricles.(Lehigh University) ・西谷 章(早稲田大学) ・Ian Buckle (University of Nevada) ・源栄 正人(東北大学) 構成： ・2011年カンタベリー地震、2011年東北地方太平洋沖地震など近年の地震でどのような性能を發揮したか？ ・免震・制振技術の発展と普及に求められていることは何か？ ・構造技術を超えて、生活空間の耐震安全性を向上させるために、何が出来るか？ ・注目すべき最新技術は何か？	横断セッション(D) 「SIPセッション」 コーディネーター：藤原広行(防災科研) 講演： 1. セッション趣旨説明(藤原広行) 2. SIP 防災の全体説明(SIP 防災, 内閣府 PD 中島正愛) 3. SIP 課題1の説明(津波予測, 研究責任者 青井真) 4. SIP 課題5の説明(被害予測・状況把握, 研究責任者 藤原広行) 5. SIP 課題6の説明(情報配信, 研究責任者 熊谷博) 6. SIP 課題7の説明(アプリ開発, 研究責任者 金田義行) 7. SIP 課題4の説明(情報共有, 研究責任者 白田裕一郎) 戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)での研究の取り組みを紹介し、日本地震工学会が進めようとしている分野間連携の強化に資する議論を行う。
	14:50	休憩
15:00	ポスターセッション(2)：P2-1～P2-39 1時間	ポスターセッション(4)：P4-1～P4-38 1時間
16:00	休憩	
16:10	横断セッション(B) 「International Session：国際研究発表会」 司会：党 紀(埼玉大学) 講演： 1. Learning from the barpak-gorkha, Nepal earthquake of 25 April, 2015 (Hari Ram PARAJULI, Kyoto University) 2. Simulation of ground motions for heterogeneous source models using reciprocity approach: example for anticipated M9 Nankai trough earthquake and Osaka Konohana site (Anatoly PETUKHIN, Geo-Research Institute) 3. Failure and breach analysis of an earthen dam during the 2011 Tohoku earthquake (Bhuddarak CHARATPANGOON, Dept. of Urban Management, Kyoto University) 4. Mechanical characteristics of elasto-plastic coil spring damper for structural seismic response control (Sungook CHO, INNNOSE TECH Co. LTD) 5. Simulated loading experiments of a hybrid structural footing embedded with steel grid members (Shigeru IHARA, 首都高速道路株式会社) 6. Tsunami evacuation planning and response supported by simulation tools (Erick MAS, International Research Institute of Disaster Science, Tohoku University)	横断セッション(E) 会長特別プロジェクト 「巨大都市で想定される様々な災害(オールハザード)の現状と対策を考える」 コーディネーター：久田嘉章(工学院大) 講演： 1. 巨大都市で想定される震災の現状と課題(仮) 久田嘉章(工学院大学)⇒想定地震・被害想定現状、レベル別対応の必要性、新宿での取り組み(SIP)など 2. 巨大都市で想定される火災の現状と課題(仮) 加藤孝明(東京大学)⇒延焼シミュレーションの現状、地震火災時と水害時に避難の現状と課題など 3. 巨大都市で想定される水害の現状と課題(仮) 大原美保(土木研究所)⇒水害リスクの現状、改正水防法(地下街)、北千住での取り組み(SIP)など 4. 東京ガスの地震防災対策～実効性のあるBCPによる非常事態への備え～ 猪股 渉(東京ガス)⇒震災経験を踏まえたガス会社の実効性のあるBCPの紹介 5. 機械系 藤田聡(東京電機大)
	18:00	休憩
18:15	交流会(要予約)	